



当院では、**睡眠時無呼吸低呼吸症候群の検査**を行っております。

次のような
症状は
ありませんか



**睡眠時無呼吸
低呼吸症候群
とは？**



睡眠中に何回も呼吸が止まり、
ぐっすり眠ることができない
病気です。
**大きなイビキや起床時の頭痛、
夜間の呼吸停止、
日中に強い眠気がさす**
などの症状があります。

潜在患者は人口の2~3%といわれ、
放っておくと**高血圧や心臓循環障害、脳循環障害**
などに陥るといわれております。
また、日中の眠気などのために
仕事に支障をきたしたり、居眠りによる事故の
発生率を高めたりするなど、
社会生活に重大な悪影響を引き起こします。

しかし、
治療方法も確立されて
おりますので、
適切に検査・治療を行えば決して恐い病気
ではありません。

どのような
検査を
するの？



**ご自宅で
終夜睡眠ポリグラフィー**
という検査を行います。

この検査では睡眠中の呼吸の状態、血液中の
酸素濃度などを同時に測定し**無呼吸低呼吸の
有無**を知ることができます。

※検査結果によっては精密検査(PSG)が必要となります。

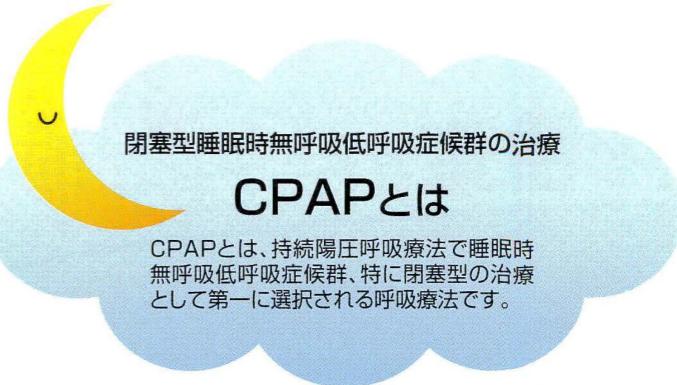
検査はご自宅で簡単に行うこと
ができる、テープにてセンサを貼り
付けて頂くだけです。



ご自宅での
終夜睡眠ポリグラフィー
検査イメージ



この検査の結果によっては、治療
を決めるために、3日間ほど鼻マ
スクをつけて検査を行います。



閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群の治療

CPAPとは

CPAPとは、持続陽圧呼吸療法で睡眠時
無呼吸低呼吸症候群、特に閉塞型の治療
として第一に選択される呼吸療法です。

CPAP療法の効果

CPAP療法は、鼻より空気を送り、閉塞した上気道をおし広げることによって睡眠時の無呼吸をなくし、酸素不足を解消することができると言われています。また睡眠の質を向上させることができます。

睡眠時無呼吸低呼吸症候群がまねく高血圧症や狭心症、心筋梗塞といった循環器の病気など、合併症を予防することもできると言われています。現在では、CPAP療法は、中等症以上の閉塞型無呼吸症候群に対する治療の第一選択として使用されています。



**FUKUDA
DENSHI**